

第 24 期第6回運営委員会報告

日時:平成 20 年 5 月 26 日(月)17:00~21:10

会場:幕張メッセ国際会議場 第 203 室

出席者(敬称略)(17 名/ 定足数 11 人):歌田久司、津田敏隆、阿部琢美、
石井 守、石川尚人、臼井英之、小川康雄、河野英昭、北 和之、
木戸ゆかり、齊藤昭則、高橋幸弘、長妻 努、野澤悟徳、山本 衛、
吉川一朗 清水久芳

欠席者(1名):田口 真

1. 前回(第24期第5回)運営委員会議事録の承認(石井)

・承認された。

2. 協賛共催関連(小川・清水)

・以下の 3 件が承認された。

協賛:第26回レーザーシンポジウム

主催:レーザーレーダ研究会

日程:2008 年 9 月 11 日-12 日

場所:原鶴温泉(福岡県)

協賛:日本流体力学会年会 2008

主催:社団法人日本流体力学会

日程:2008 年 9 月 4 日-7 日

場所:神戸大学六甲台キャンパス

後援:惑星科学フロンティアセミナー2008

主催:惑星科学フロンティアセミナー実行委員会(日本惑星科学会)

日程:2008 年 7 月 22 日-25 日

場所:ニセコ(北海道、予定)

3. 入退会審査(小川)

・入会:11 名の入会が承認された。

正会員(一般)4 名:秋岡眞樹(所属:情報通信研究機構、紹介者:小原隆博・佐川永一)、松野哲郎(極地研究所、島伸和・野木義史)、芦原佑樹(奈良工専、岡田敏美・三宅壮聡・石坂圭吾)、天野孝伸(名古屋大学、星野正弘・寺澤敏夫)

正会員(学生)7名:吉岡和夫(東京大学、岩上直幹・吉川一朗)、寺本万里子(京都大学、齊藤昭則・家森俊彦)、大賀正博(同志社大学、林田明・福間浩司)、臼井嘉哉(東京大学、上嶋誠・小河勉)、村上豪(東京大学、吉川一朗・岩上直幹)、山下幸三(東北大学、高橋幸弘・佐藤光輝)、小路真史(京都大学、大村善治・臼井英之)

・退会:8名の退会を承認した。

退会8名:山口類、西田潤一、小川敢、鮎川勝、岡崎良孝、井上聖子、相京和弘、武貞良人

・シニア:1名のシニア会員申請を承認した

シニア会員1名:中村義勝

4. 会計関連(山本・阿部)

4.1 H19年度決算報告

・平成19年度の会計決算が報告された。

・収入:一般会員の会費納入率は予測通りであった。学生会員と海外会員の納入率が低く、支払い方法等に改善が必要。収入は予算額を11万円ほど下回った。

・支出:管理費が予算額を下回り、効率的運用がなされた。会報発送費が予定額の2倍になっているが、これは191号会報に会員名簿を同封したため。通信費、印刷費、旅費には余裕がある。大会開催費については、秋学会のLOCの名古屋大学の努力により、学会の負担が小額ですんだ。支出額は予算より131万円下回った。

・総括:支出を抑えることができたため、次期繰越金が約120万円増となった。収支としては問題ないが、広報教育活動費など、さらなる投資が望ましい費目への支出を増やすなどの工夫が必要。

4.2 会計監査準備報告

・7月1日に監査が予定されていることが報告された。

4.3 除籍対象者

3年以上会費未納の除籍対象者のリストが提示された。また、4年以上会費未納者については2006年に除籍勧告を、3年未納者には2007年3月に除籍勧告を行った。これらの未納者には会費納入を促す。

5. 国際学術交流事業関連(石井)

・2件の申請について審議を行い、新浩一会員の申請を採択した。援助額20万円。

6. 秋学会関連

6.1 第124回講演会準備状況(高橋)

- ・仙台で開催される予定の秋学会の準備状況が紹介された。LOCのホームページ(立ち上げ予定)より情報を会員に周知する。
- ・学会期間中は保育室を確保する予定。詳細については今後調整を行う。
- ・アウトリーチイベントの科研申請が採択された。助成額90万円。

6.2 第124回講演会までのスケジュール(石川)

- ・秋学会までのスケジュールが説明された。重要な日程は以下のとおり。
 - 6月6日まで セッション情報の最終締切
 - 6月20日投稿受付開始
 - 7月22日投稿締切
 - 10月9日-12日 秋学会
- ・予稿投稿には、日本地球惑星科学連合の個人データベースを用いる。
- ・レギュラーセッションのコンビーナの調整状況が説明された。

6.3 特別セッション

- ・3件の申請があり、議論の結果、2件が採択された。
 - 「南極昭和基地大型大気レーダーによる超高層大気研究の新展開」 採択
(コンビーナ:佐藤薫、齋藤昭則、佐藤亨、堤雅基、山内恭、富川喜弘)
 - 「地震学と地球電磁気学の境界領域研究」 採択
(コンビーナ:歌田久司、高橋幸弘、鴨川仁、西田究、深尾良夫)

6.4 その他

- ・JCOM から、予稿集CDROM作製等にかかる費用の値上げについての要望が出されたことが報告された。今年度については値上げを見送ることになったが、来年度以降は、現状のサービスを維持するのであれば、20-30万円程度値上がりする。今後、サービスの維持(予算の増加)か予算の維持(サービスの低下)のどちらを選択するかを含め、方針を決定し、対応策を検討する。引き続き、運営委員会で議論する。

7. 学会連合関連

7.1 プログラム委員長選出について(北)

- ・2010年連合大会プログラム委員長の立候補、推薦を募っていることが報告された。

7.2 その他

- ・地学オリンピックの協賛費(10万円)は、今年度予算から支払う。

8. アウトリーチ関連(長妻)

- ・アウトリーチ部会の会合を5月26日に行い、秋学会時のアウトリーチイベント、アウトリーチWebについての議論をおこなった。アウトリーチイベントについては、コアメンバーが選出された。また、webは、秋学会までに作成し、アウトリーチイベント時に会場で参加者に使用していただき、意見を募る。
- ・webの、キーワードの選出についての意見を募る。
- ・部会メンバーが固定化しつつあり、若い新メンバーが欲しいという意見が出された。

9. EPS 関連(齋藤・田口)

- ・科研費が採択されたことが報告された。助成額は1160万円。
- ・入札がおこなわれ、テラパブが落札した。
- ・科研費助成額が減少していることが報告された。(昨年度より300万円減。)今後の対応を検討する必要がある。

10. 男女共同参画関連(木戸)

- ・2006年に実施された、大規模PDアンケートの調査報告書が印刷・製本されたことが報告された。また、電子版が4月より公開されていることが紹介された。
- ・アンケート調査結果を連絡会の希望学会、WGメンバー、運営委員、評議委員、大学・研究機関長、関係省庁に配布する。
- ・今後、提言をまとめるか否かについて、WG内で議論していることが報告された。また、提言は積極的にすべきであるという意見があった。
- ・2回目のアンケート(学協会がとりまとめ)の集計等の進捗状況が報告された。5月25日に最終版が定められ、内容については次回運営委員会で報告予定。

11. 学校教育WG報告(北・吉川)

- ・高校関係者用の「太陽地球系科学」の進捗状況と予定について報告された。
 - 現在は2回目の査読中。全章の査読終了後、高校関係者に読んでいただき、意見を募る。
 - 本年中に最終版を定める。
- ・当初の想定より大規模になり、京大出版会から出版される予定であることから、冊子が高額になるのではないかと危惧がある。ある程度の数を買って高校に送付する等、本の配布法について、今後議論を行う。

12. 合同プラズマセッション報告(吉川)

- ・世話人を杉山徹会員に依頼し、快諾していただいた。
- ・次回は物理学会の主催で2009年3月に開催する予定。(今後、物理学会の承認を得る予定。)

- ・現在の 3 学会の他の学会も含める予定がある。
- ・2010 年のプラズマセッションはSGEPSSが主催予定。

13. Web 関連報告

13.1 学会 Web の改訂について(臼井)

- ・改訂版の学会HP(仮)が公開されたことが報告された。現在、不具合等確認中。

13.2 集会案内メールの運営委員会への移行について(河野)

- ・SGEPSS Web カレンダー

http://www.sgepss.org/calen_test/calen.cgi を、これまでボランティアで sgepssbb に流されてきた集会リストと同程度の情報量にする可能性について議論された。

- ・議論の結果、SGEPSS Web カレンダーの運用については、基本的にはこれまで通り sgepss-admin@sgepss.org に掲載依頼があったものを掲載するが、全運営委員が積極的にWebカレンダーに情報提供する事とした。また、毎月 sgepssallに案内を流し会員に Webカレンダーの活用を求める事とした。

14. 学生発表賞関連(阿部)

- ・総会時に行うオーロラメダル表彰の準備状況と受賞者の出欠の予定が報告された。
- ・前回運営委員会での議論内容を反映した、学生発表賞評価表の改訂版が提示された。
- ・学生発表賞については、これまで学会の規定として定められていたが、他の学会賞と同様に内規で定める事が妥当であるとの報告がなされた。

15. 会報発行予定(北)

- ・7月7日発行予定(6月16日原稿締切)

16. 学会創立 60 周年記念事業(石井)

- ・学会創立 60 周年記念事業の現状報告がされた。
- ・これから原稿を依頼する方のリストを現在作成中。
- ・佐納会員が作成したも年表をベースにして、年表を整備中。
- ・製本作業について加藤進名誉会員、西田篤弘会員からいくつか提案があった。提案内容は以下の通り。
 - 製本については、プロに依頼すべき。
 - 製本予算の確保のため、会員からの寄付・購入予約を考えるべき。
 - 時間的な制約をもうけず、しっかりしたものを作るべき。

17. その他

- ・4月28日に開催された連合将来構想委員会で議論された内容について報告された。
(メールでは5月4日に周知済。)
- ・連合のセクション化について、複数選挙権などをSGEPSSから要望を出したが、受け入れられなかった。
- ・5月28日に連合の評議委員会が開催される予定であり、定款の最終答申が行われる予定。また、準備委員会の立ち上げについても議論される予定。

18. 次回開催日

- ・8月上旬を予定。